

前田文敏郎 詩歌、歌人、小説家。明治二十二年四月、二十六年自京都生れ、
 昭和二十六年一月十日没（六九—九五）。本名敏人郎。筆名傷鳥、繪
 山鳥渡、河田壽一、龍馬敏。京都農林學校の學ぶ。前田文暮の師等。
 歌誌『文珠蘭』主宰、『短歌月刊』創刊。

著書『發生（白白社歌集第一集）』（合著・前田文暮編、大正四年二
 月二十五日白白社）、歌集『流離』（大正十三年八月十日藝文運動社）、
 『玫瑰の花・第六』（合著、昭和八年二月一日玫瑰會編刊）、『道は
 盡きざり』（昭和二十一年四月十五日京都・大洋出版社）、『評
 論』、『二郎名歌選』（昭和二十二年五月二十日石川・北國新聞專業會社）
 等。

